

がん治療研究の応援につながる「deleteC マッチ」会場に 14,056 人が参加！  
ラグビー観戦を通じた 4 つのアクションにより総額 719,315 円が寄付に  
～チーム、スタッフ、選手、ファンが ONE TEAM となり“希望の風景”を～



ラグビーチーム 浦安 D-Rocks 発の企画で、3月14日(金)に秩父宮ラグビー場で行われた NTT ジャパンラグビー リーグワン 2024-25 第11節のホストゲーム「deleteC マッチ」において、「投稿」「視聴」「来場」「得点」など4つのカジュアルソーシャルアクション(以下、CSA)を通じて、総額 719,315 円のがん治療研究への寄付があつまったことをご報告します。

「deleteC マッチ」当日は、会場に 14,056 名が駆けつけました。選手たちは deleteC のメインカラーであるマゼンダを基調とし、胸の docomo のロゴからも C を delete した特別なジャージを着用。さらに、来場者には deleteC カラーのベースボールシャツが配布され、会場全体がマゼンタ色に染まり、選手、ファンが一体となって、がん治療研究への応援に取り組みました。

また、がん治療研究の応援の対象となるアクションの D-Rocks のロゴから C を消して、「#deleteC マッチ」「#drocks」をつけた「投稿」アクションでは投稿数×100 円により 6,700 円が寄付となり、「来場」アクションでは、来場者数の数×10 円の 140,560 円が寄付につながりました。さらに、スポーツ観戦アプリ SpoLive で送った応援が寄付になる「視聴」アクションにおいては、347,843 円が寄付に。(「スーパー応援」は 4,248 円となり全額寄付。小数点以下は切り捨て)そして、浦安 D-Rocks の得点×1 万円が deleteC に寄付される「得点」アクションでは、220,000 円の寄付があつまりました。

あつまった想いと寄付は、deleteC の医療公募・選考会を経た医師・研究者にお届けします。寄付・啓発先の発表は 2026 年 2 月に開催する「deleteC 2026 -HOPE-」を予定しています。

【「投稿」アクションのタイムライン上には、以下のようなメッセージが溢れました】

<コメント一部抜粋>

deleteCマッチ 「投稿」 アクションの様子



- ・がんは2人に1人が罹患すると言われていたが、両親、義両親ともに がんにみなさまの意識づけに少しでもつながりますように。
- ・秩父宮ラグビー場に行ってきました。今回の入場者数分がん治療の研究の為に寄付するとか、本当に素敵な企画だと思います。
- ・父や親友ははじめがんで亡くなっています。治せる病気にしたいです。試合は悔しかったけど最高のイベントでした。
- ・会場ではマゼンダピンクのBBシャツの配布があり、着用して応援しました。  
生でラグビーを観戦するのははじめてでしたが、迫力があり楽しかったです。また行きたいな。
- ・スポーツの力、応援の力が、未来や意識を変えるアクションに！ みんなで輪を広げていきたいですね。
- ・乳癌患者の1人として、この取り組みに感謝します。
- ・今日のリーグワンはチャリティマッチ。賛同します。

【浦安 D-Rocks 内山浩文氏のコメント】

浦安 D-Rocks として初の deleteC マッチ。大成功に終わりました。4つのアクションで多くの寄付金が届けられることもうれしく思います。また、マゼンダカラーに満ちた観客席との一体感はいままでにはないスポーツ観戦の形となり、チームや選手・スタッフ・ファン・そして NTT グループの社員にとっても記憶に残る一日になったと思います。勝ち(競技そのもの)と価値(参加することで社会課題の解決)の2軸を感じてもらう機会を今後も積極的に展開したいと思います。来年ももっと多くのファンを巻き込み、仲間になって、想いをカタチにしていける deleteC マッチ シーズン2 を開催できればと思います。

【浦安 D-Rocks 石神 勝氏のコメント】

今回の deleteC マッチを大成功に終わることが出来、本当に嬉しく思っております。

あのマゼンダに染まったスタンドの景色は、選手もスタッフも忘れられない景色となりました。こんなにもチームの

ファンが応援に来てくれていること、こんなにもチームの deleteC との取組に賛同してくれている方がいることを実感し、ラグビーがスポーツの枠を超えて、アクションを起こせることを実感した試合でした。ラグビーというスポーツの価値を感じ、ラグビーに関われたことを誇りに思える時間だったと思います。更なるアクションを皆さんと一緒にラグビーとともに実施していきたいと思います！

### 【deleteC 代表理事小国士朗 スピーチ内容】

「みなさん、こんばんは。認定 NPO 法人 deleteC 代表理事の小国士朗と申します。deleteC は、「みんなの力で、がんを治せる病気にするプロジェクト」として、2019 年から立ち上がった NPO 法人です。deleteC の C は Cancer の頭文字の C で、企業とかブランド、サービス名から C を消してもらおうなどの様々なアクションが、がん治療研究の寄付につながり、また、がん治療研究を進めようとするすべての人々のエールになるという活動をしている団体になります。

今日は浦安 D-Rocks さんの発案で、deleteC マッチとして開催をしていただいておりますが、deleteC では応援につながる様々なアクションを“カジュアルソーシャルアクション”と呼んでいて、ソーシャルアクション＝社会に良いことをするのはどうしてもハードルが高いのですが、このカジュアルソーシャルアクションは、かろやかにみんなで社会に良いことをやっとういこうよ！ということで、浦安 D-Rocks さんにもその点に賛同し、そして共感をして今回の deleteC マッチ、寄付につながる 4 つのアクションということで「投稿」「来場」「視聴」「得点」が応援につながります。

冒頭の紹介にもありましたが、今日は「ONE TEAM の力で、がんを治せる病気にする」をコンセプトに、ラグビーの力、deleteC のカジュアルソーシャルアクションの力、そういったものをあつめて、ぜひがんを治せる病気にするという未来をみんなで手繰り寄せていければいいなと思っております。今日みなさんもマゼンタの BB シャツを身に着けてくださっていますが、ぜひ秩父宮からがん治療研究を進めようとしているすべての人々にたくさんエールを発信できたらいいなと思っています。開催にあたってご尽力いただいたみなさま、またこの会場にご来場いただいているみなさまに心より感謝申し上げます。今日はどうもありがとうございます。」

deleteC と浦安 D-Rocks の歩みは、deleteC 設立当初の 2019 年に遡ります。ラグビーの力を通じて様々な形で応援していただき、2020 年 1 月にはじめての「deleteC マッチ」を実施しました。（当時は NTT コミュニケーションズ シャイニングアークス東京ベイ浦安）その際は、チームスタッフや選手の方々とともに、募金箱をもって活動について呼びかけていただきました。今回、チーム、スタッフ、選手、ファンが一体となり、様々なアクションを通じて応援するその仕組みはじめての試みとなりましたが、改めて、このような素晴らしい企画をしてくださった、浦安 D-Rock のご担当者様、選手そし





て、ファンの皆様をはじめ、この活動に理解をしてくださったクボタスピアーズ船橋・東京ベイの皆様にも、ONE TEAM の精神で一緒に取り組んでいただけたことを心より感謝いたします。

deleteC は、がんを治せる病気にする日を一日も早く手繰り寄せるため、誰もが参加できる CSA を通じてこの取り組みを根付かせ、希望の風景を全国に広げてまいります。

#### 【deleteC メッセージ】

いつでもどこでもかろやかにがん治療研究の応援ができる。

それが、カジュアルソーシャルアクション(CSA)。

世代や立場をこえて、誰でもできる。投稿するだけで、買うだけで、いろんな方法でできる。

ひとつひとつは小さな営みでも、あつまって、重なって、広がれば、

「がんを治せる病気にする」という未来を手繰り寄せることができるはずだから。

ふだんの暮らしが、応援になる。できることから、かろやかに、はじめよう。

#### 【deleteC について】

deleteC は、誰もがふだんの暮らしの中でがん治療研究を応援できる仕組みをつくり、がん治療研究への寄付と啓発につながるカジュアルソーシャルアクションを通じて、1 日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることに貢献することを目的に、2019 年に設立。2022 年には、認定 NPO 法人として、東京都に承認されました。

具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名から Cancer の頭文字である「C」の文字を消したり、deleteC のロゴやコンセプトカラーを使うなどし、オリジナル商品・サービスを企画・提供します。購入金額の一部は deleteC を通じて、医師・研究者が推進するがん治療研究に寄付(※)としてお渡しし、市民もがん治療研究の応援に参加できる仕組みをつくっています。

毎年秋には「deleteC 大作戦」と題し、投稿・拡散、買い物、歩く、学びなど 4 つの CSA を通じて、がん治療研究を応援。2 月には「deleteC -HOPE-」を開催し、がん治療研究を推し進める医師・研究者に寄付をお渡します。寄付先となるがん治療研究については、公募を実施し、がん臨床試験の専門的知見を有する医師のほか、プロジェクト参加企業、deleteC 医療リサーチチームといった多様な視点を持つメンバーで選考委員会を構成し、公正なる審査のもと、寄付先を決定します。現在は、参加企業・団体 200 社を超える方々に支持されており、これまでに小児がん、子宮頸がん、胃がん、肺がん、乳がん、膵がんなどの臨床専門医や基礎研究者、リサーチナースなど 12 名の医師・研究者に総額 5,000 万円以上を支援しています。

(※)寄付金は、がん治療研究及び、啓発コンテンツ制作費など deleteC の活動に充てられます。

#### 【法人概要】

法人名 : 認定 NPO 法人 deleteC <https://www.delete-c.com/>

代表 : 代表理事 小国士朗

事業内容 : (1)ロゴ等を活用したがん啓発事業(2)がん啓発イベント事業 (3)がん医学研究に対する寄付・助成事業  
(4)がん医学研究に関する事業提供・啓発事業(5)その他その目的を達成するために必要な事業

<本件に関するお問い合わせ>

認定 NPO 法人 deleteC 広報 山口恵子 yamaguchi@delete-c.com